

“一番お気に入り”を紹介しよう — 教材文「お手紙」 —

2年国語科 7月 10時間 附属新潟小学校 指導教諭 里村 穰

1 本単元で目指す姿

かえるくんに関する複数の言葉を関係付けて読み、かえるくんの人物像をとらえる子ども

具体的には、文脈に即したかえるくんの言動に関する言葉の意味に着目して、かえるくんの言動に関する言葉とかえるくんの人物像とを関係付けて考えるという「見方・考え方」（以下、「言葉による見方・考え方」）を働かせ、かえるくんの言動に関する言葉を基にかえるくんの心情を想像する力（②思考力・判断力・表現力）等を発揮して、かえるくんの言動に関する複数の言葉を根拠に、想像した心情を理由として、かえるくんの人柄を表現する子ども

2 本単元で育成する資質・能力、そのために子どもが働かせる「見方・考え方」

国語科	「見方・考え方」		
	○「言葉による見方・考え方」 1 言葉の意味に着目して、叙述と文章内容とを関係付けて考えること 2 文脈に即したかえるくんの言動に関する言葉の意味に着目して、かえるくんの言動に関する言葉とかえるくんの人物像とを関係付けて考えること		
	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度

3 単元の計画

次	時	○学習活動	◆働き掛け	☆資質・能力 ・予想される子どもの反応	評価する対象 ◎評価
一	1	○ 言語活動と「お話しリーフレット」の概要を知り、「お手紙」を音読する。	◆ 設定した言語活動、「お話しリーフレット」の形式を提示する。 ※提示後、教材文と出合わせ、読み聞かせたり音読させたりする。	・「お手紙」を1年生に紹介するのか。できるかな。 ・「お話しリーフレット」が何かが分かった。つくりたいな。 ・上手に音読できるようにたくさん練習しよう。	
	2・3・4	○ 「お手紙」を読んで物語の内容の大体をとらえ、「お話しリーフレット」の表面に登場人物とあらすじを書く。	◆ 登場人物とあらすじを問う。 ※登場人物ごとに色分けして傍線を引かせる。 ※「誰がどうするお話か」という観点を提示して、あらすじをまとめさせる。 ※「お話しリーフレット」の形式を配付する。 ◆ 観点を提示して学習を振り返る場を設定する。	☆国語科①-1, ②-1, ③-1 ③登場人物とあらすじを確かめるために読もう。 ①がまくんは、お手紙を待っていた。 ①かえるくんは、がまくんにお手紙を書いた。 ①かたつむりくんは、がまくんにお手紙を届けた。 ②お手紙を待っていたがまくんに、かえるくんがお手紙を書いて、かたつむりくんがお手紙を届けます。	記述（ノート・「お話しリーフレット」） ③読む目的を明確にしている。 ①登場人物が誰かをとらえている。 ②あらすじが何かをとらえている。
	5	○ 「お手紙」の登場人物の中から一人を選び、選んだ理由と根拠を書く。	◆ 一番お気に入りの登場人物、その理由、根拠とする言葉を問う。 ※「お話しリーフレット」中面の下書きとなるワークシートを配付する。	・かえるくんです。一度もお手紙をもらったことのないがまくんにお手紙を出したので、優しいなと思いました。「ぼくが、きみに～」という言葉から、そう思いました。	
	6	○ かえるくんが選ばれた根拠となる複数の言葉を知り、問いをもつ。	◆ 根拠となる言葉を複数例示し、感じた疑問とその理由とを問う。【働き掛け1】 ※かえるくんが多く選ばれていたこと、理由として優しさが挙げられていたことを伝える。 ※まず直接的な表現の言葉を示し、次に間接的な表現の言葉を示す。 ※子どもの発言をまとめ、学習のめあて（学習課題）として、板書（◎として示す）する。	・そうそう。「ぼくが、きみに～」という言葉から、かえるくんの優しさが分かるよ。 ・どうして、「家からとび出しました」という言葉から、かえるくんの優しさが分かるの。	
	6	○ かえるくんの人物像をとらえる見通しをもつ。	◆ 例示した言葉の分類と理由、その言葉を根拠とした理由を問うた後、学習の進め方を問う。【働き掛け2】 ※子どもの発言を受けて、四つの言葉をかえるくんの言動で分類し、ラベリングする。 ※直接的な表現の言葉を示し、子どもの発言をその言葉の傍に整理して板書する。 ※子どもの発言をまとめて板書し、この学習の進め方でよいかを確認する。	☆国語科③-2 ・「ぼくが、きみに～」と「しなくちゃいけない～」とで仲間になります。かえるくんが言った言葉だからです。 ・「ぼくが、きみに～」という言葉からは、がまくんのためにお手紙を書いたかえるくんの気持ちが分かるから。 ・かえるくんが言ったりしたりした言葉を探す。 ・見付けた言葉から、かえるくんの気持ちを考える。 ・かえるくんにどんな優しさがあるかをまとめる。 ③そのために、教科書（「お手紙」）を読む。	発言・同意の挙手 ③読む目的を明確にしている。
二	7	○ かえるくんの人物像をとらえるのに必要な言葉を収集、整理する。	◆ 個人で読む場を設定した後、観点を提示して分かったことを伝え合う場を設定する。【働き掛け3】 ※拡大したウエビング・マップで使い方を例示した後、ウエビング・マップを配付する。 ※子どもの発言を、拡大したウエビング・マップに書き込んでいく。	☆国語科②-2, 協働性, ツール活用能力 ②「ながいことまっていた」という言葉からは、がまくんと一緒に喜んであげたいという気持ちが分かる。 ②「家からとび出しました」という言葉からは、がまくんのために早く手紙を届けてあげたい気持ちが分かる。 ・「ながいことまっていた」と「しなくちゃいけないことがあるんだ」という言葉から、がまくんを喜ばせたいという気持ちが分かる。	記述（ウエビング・マップ）, 発言 ②かえるくんの言動に関する言葉を手掛かりにかえるくんの心情を考えている。
	7	○ かえるくんの人物像をとらえるのに必要な言葉を判断し、かえるくんの人物像を表現する。	◆ かえるくんを紹介するために必要な言葉を問い、紹介する文章を書く場を設定する。【働き掛け4】 ※ワークシートを配付し、どの言葉から、かえるくんのどのような気持ちが分かるから、かえるくんのどんな優しさを紹介するかを記述させる。	☆国語科①-2 かえるくんは、「しなくちゃいけないことがあるんだ」と言って、急いで自分の家に帰ります。「しなくちゃいけない」という言葉から、「悲しんでいるがまくんのために僕が手紙を書いて喜ばせてあげたい」という気持ちが分かります。また、がまくんと一緒にお手紙が届くのを「ながいことまって」あげます。「ながいことまって」という言葉から、「がまくんと手紙が届いたことを一緒に喜んであげたい」という気持ちが分かります。どちらも友達ががまくんを喜ばせてあげたいという気持ちや一緒に喜んであげたいという気持ちが分かるので、かえるくんは友達のためにしてあげたいという優しさがあります。	記述（ワークシート） ①共通の関係で言葉と言葉とを関係付けている。
	8	○ 発揮した様々な資質・能力を自覚する。	◆ ペア発表会、振り返りの場を設定した後、人物像をとらえることができた要因を問う。【働き掛け5】 ※「この学習でしたこと、できたこと」という二つの観点を提示する。	☆国語科①-2, ②-2, ③-2, ツール活用能力 ①同じ気持ちが分かる言葉でまとめることができた。 ②かえるくんの言葉からかえるくんの気持ちを考えた。 ③かえるくんの優しさを考えるために「お手紙」を読んだ。 ・ウエビング・マップを使って言葉を集めることができた。	記述（振り返りシート） ①②③, ツール活用能力 発揮した資質・能力を自覚している。
三	9	○ 「お話しリーフレット」を完成させ、紹介の練習をする。	◆ 「お話しリーフレット」を完成させる場を設定した後、二人一組で紹介の練習をする場を設定する。	・「お話しリーフレット」が完成したぞ。 ・交替で、紹介の練習をしよう。	
	10	○ 「お手紙」を1年生に紹介する。	◆ 1年生との交流の場を設定する。	・1年生が喜んで聞いてくれてうれしかったな。 ・また今度、1年生にお話を紹介してあげたいな。	